

老生万歳！そして感謝♡

昭和20年5月末の山の手大空襲で、小石川の生家を一夜にして焼失。家族8人は夫々に疎開生活でバラバラに。その4年後、市谷田町に居を構えてやっと家族一丸合流できたのですが、戦地に赴き消息不明の義弟を想う気は、毎朝靖国神社の青銅色の墓に向かて合掌しておりました。

省線が、お濠端に沿う様に走っていた頃、通学定期代を浮かすために私は学芸大学附属竹早中学へ徒歩通学していました。ある朝、飯田橋通りで隊列軍用トラックの後尾の一台が急停止すると数人の米兵がバラバラと降り立ち私に向かって来た！その時、赤いヒールのパンパンのお姉さんが「まるで降って湧いたかの如く駆情って叫んだ！」「おれが身代りになるから、はやく早く！お逃げなさい！」と、軽々と投げこまれたお姉さん、幌を下げて走り去る車から響く米兵の奇声と口笛に涙が溢れて…固まってしまった私。

だから、戸山高校では社会研究班に入りました。日増しに軍事要塞化する沖縄の米軍基地反対デモ行進にも参加し、常に校内に鞆を取りに戻った時には米田清一先生、北野梅太郎先生、高木建二先生とバツタリした事も…。しかし、先生は笑みさえ浮かべて何のお咎めも皆無だった。戸山は「自由」だった、とてもありがたかった。

来年は「戦後80年」、今以上に地位協定とやらで野放し状態の沖縄における性被害や悲しみを想う時、戦争絶対反対の戦争は狂気を生むだけ。これ以上、利益を奪い合って、効率優先の価値観に溺れるな！と言ひ続けたい。

卒業間際、「戸山の生活を顧みて」という課題で、提出した文章に最高点の👉印を付けて下さった田崎治泰先生。

入学式で平田巧校長先生が「計画性の有る日々を」と諭されたこと。

人間は「人格」が一番大切と藤村久雄先生が仰ったこと。

都合で、就職組の私にとっては、戸山は学生生活を楽しむ最後の尊い学舎でありました。

そして、見識ある編集委員のメンバー也 知見量が半 磯野昭彦さん、
 HPの維持管理にご尽力くださった 高橋棟作さん、
 (2006) 31年50周年記念のためCDを完成させ、(2007) 古希記念アルバムを発行
 配布也、(2014) 喜寿を機に全メンバーを全員で着けた 也 友誼会 等 どれも成功に
 華いて頂いたこと。
 節目の折々の担当組・C組の一員として 微力ながら 働かせて頂いた事が 私の栄ゆのか
 と思います。
 セツ上の主人は、戦時中 沼中(現沼津東高校)時代に 大好きな弓道部が
 廃部となり、兵器庫の作業に駆り出された上に、銃を構え匍匐前進訓練の日々
 が続いたそう。
 毎秋、栗林さんから頂ける招筈状を心待ちし、穴八幡宮の「流鏑馬神事」が
 行われるスポーツの日、戸山公園(箱根山地区)にふたりして 去向くのが楽しみでした。
 栗林さんに、改めて厚く御礼申し上げます。

おかげ様で2子を得た私も87歳、成人は孫5人・男世のひ孫2人に恵まれて
 今日が在る生き方に万感の思い……感謝至極に存じます。

C組・笠井三幸 (2024.9/29記)